

日本労働年鑑 第51集 1981年版  
The Labour Year Book of Japan 1981

第一部 労働者状態

VI 農家の状態と農民の生活

1 農家と農家人口

5 農家子弟学卒者の動向

農家子弟の学卒者数

農水省統計情報部「農家子弟の新規学卒者調査結果」により農家子弟の学卒者の動向をみたのが第66表である。これによると一九七九年三月、中学校以上の学校を卒業し、卒業当時農家世帯員で卒業前の状態が通学が主であった農家子弟総数は対前年比三%減じ七四万人であった。このうち高卒者が四六%でもっとも多く、ついで中卒者が四四%を占めた。なお、短大・大卒者はこれまで一貫して増加傾向をたどってきたが、七九年三月のそれは三%減少した。

農家子弟学卒者の卒業後の状況

同じ新規学卒者調査結果によれば農家子弟の卒業後の状況はつぎのとおりである。

七九年三月の学卒者のうち進学者は四五・四万人、就業者は二六・五万人であった。農家子弟の絶対的減少を反映しこのいずれも前年に比べ減少した。これは最近の傾向である。このことは他産業就業者にも一般に妥当するが、そのうち「転出」による就業者の減少率が「通勤」によるものを常に上回っていることから、他産業就業者にたいする転出型就業は三七%(九万人)に低下し、通勤型就業は六三%(一六万人)に上昇した。

農家子弟学卒者の自家農業就業は七七年の一時的増加を除き減少の一途をたどり、七九年三月卒のそれは七六〇〇人に低下した。この結果、農業就業率(新規学卒就業者総数にたいする自家農業就業者の割合)は二・九%に低下した。これは男子の「あとつぎ」でも七・五%程度であった。また、都府県の農業就業率を経営耕地規模別にみると経営規模が上層になるほど高くはなっているが二ha以上層でも九・七%程度にすぎなかった。

日本労働年鑑 第51集 1981年版

発行 1980年11月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始